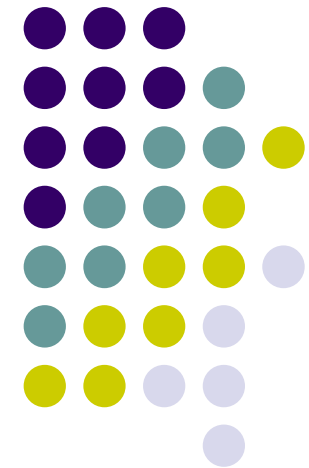


# 千葉県下の精神科医に対する産業保健活動支援の 在り方に関する調査 —5年前の調査結果との比較を中心に—



主任研究者	千葉産業保健推進センター	相談員	本吉光隆
共同研究者	千葉産業保健推進センター	所長	能川浩二
	千葉大学大学院環境労働衛生学	准教授	諏訪園靖
	千葉大学大学院環境労働衛生学	助教	土地実礼

# はじめに



- メンタルヘルス対策は産業保健における最重要課題の一つ
- 平成16年度に「千葉県内事業所のメンタルヘルス対策の実態と職域のメンタルヘルスに対する精神科専門医の意識に関する調査」を実施
- 精神科専門医（以下精神科医）、産業医、労務担当者ともメンタルヘルスに苦慮
- 連携協力関係を望む意見が強い

# はじめに



- 本調査の目的
  - 精神科医の産業保健活動参加を推進
  - 当センターの役割を知る
- 5年前の調査と比較
  - 精神科専門医の診療の実態
  - 指針の普及度
  - 事業所スタッフとの連携の実情など

# 対象及び方法



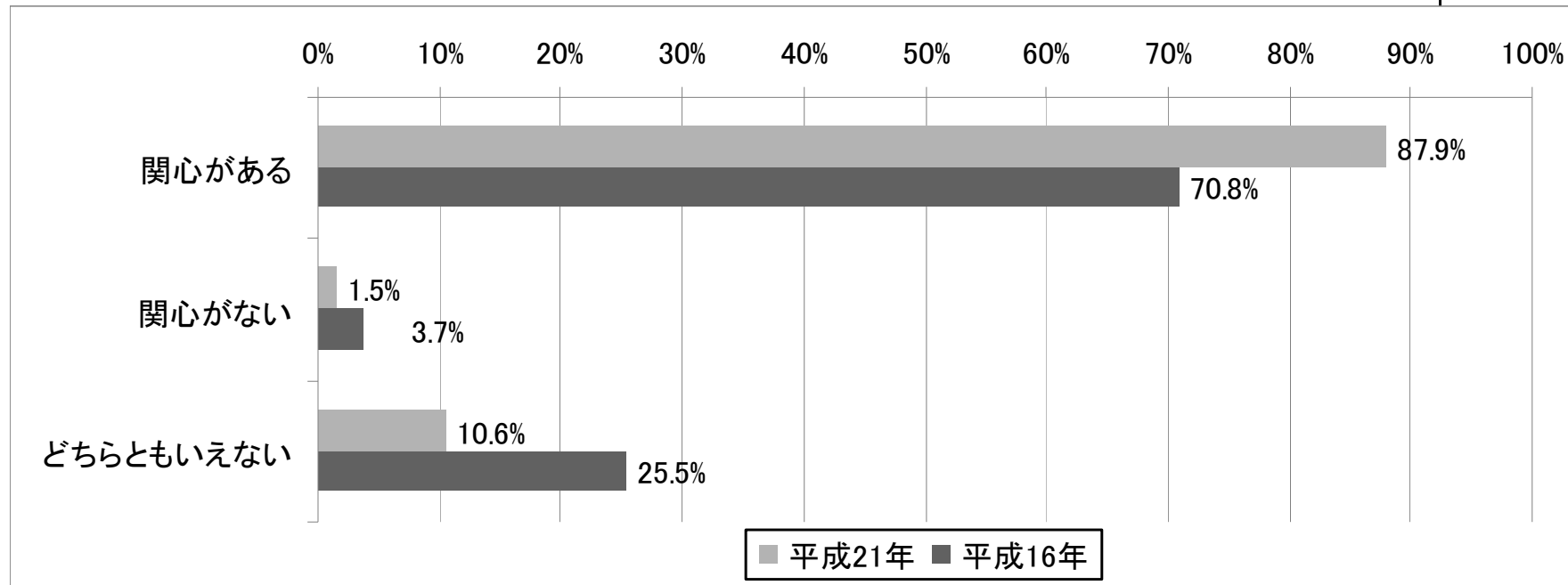
- 千葉県下の精神科専門クリニック70施設、精神科専門病院43施設の精神科専門医
- 調査内容：
  - 施設の情報
  - 産業医資格の有無、
  - 職域から紹介された患者に関する産業保健スタッフへの情報提供の状況
  - 復職時の対応
  - 事業所の健康管理部門との連携について等

# 結果



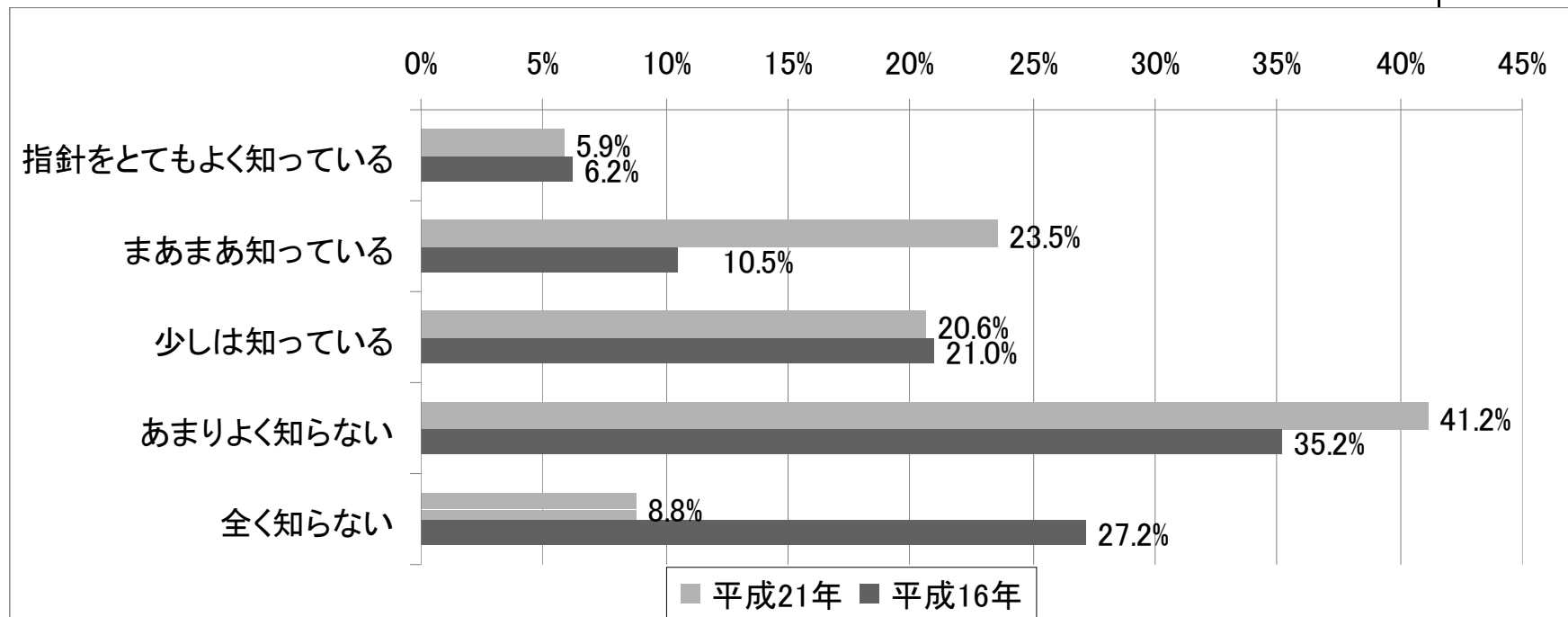
- 平成21年度
  - 回答者数68名、回収率34.2%
- 平成16年度
  - 回答者数163名、回収率45.1%
- 対象者が勤務する施設
  - 無床診療所に勤務する割合が49%と最多
  - 次いで200～299床と300床以上の精神病院が20%弱

# 職域におけるメンタルヘルス問題への関心



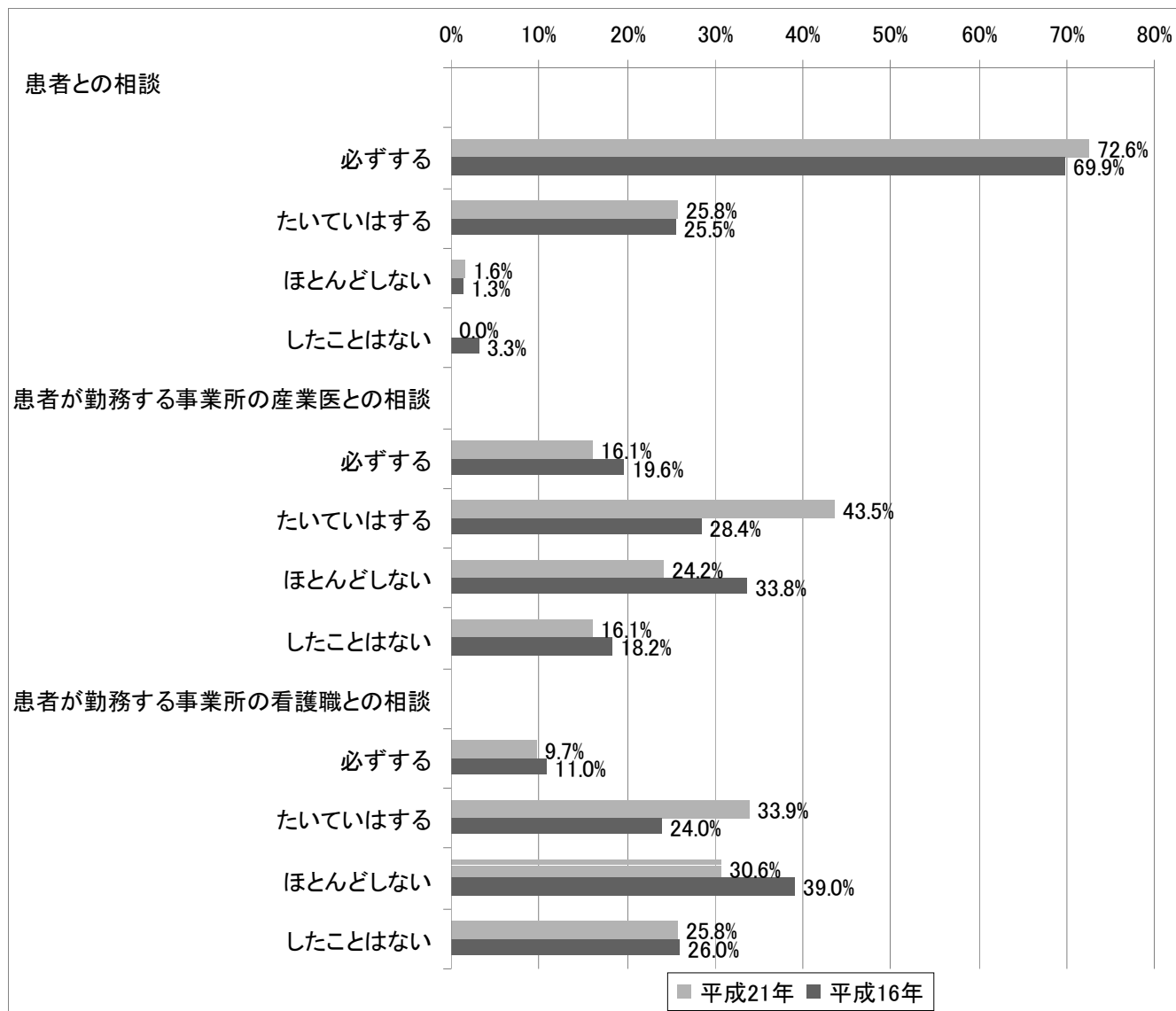
- 「関心がある」と答えたものが88%
- 精神科医の関心が高まってきている

# 厚生労働省「労働者の心の健康づくりのための指針」の周知状況



- 「まあまあ知っている」との回答が増加
- 「全く知らない」との回答が大幅に減少
- 「とてもよく知っている」「まあまあ知っている」「少しは知っている」との回答の合計は、37%から50%と大幅増

# 人事担当者への情報提供についての相談



- 患者との報告内容の相談

- 「必ずする」7割

- 産業保健スタッフとの報告内容の相談

- 「ほとんどしない」減少

- 「たいていはする」増加

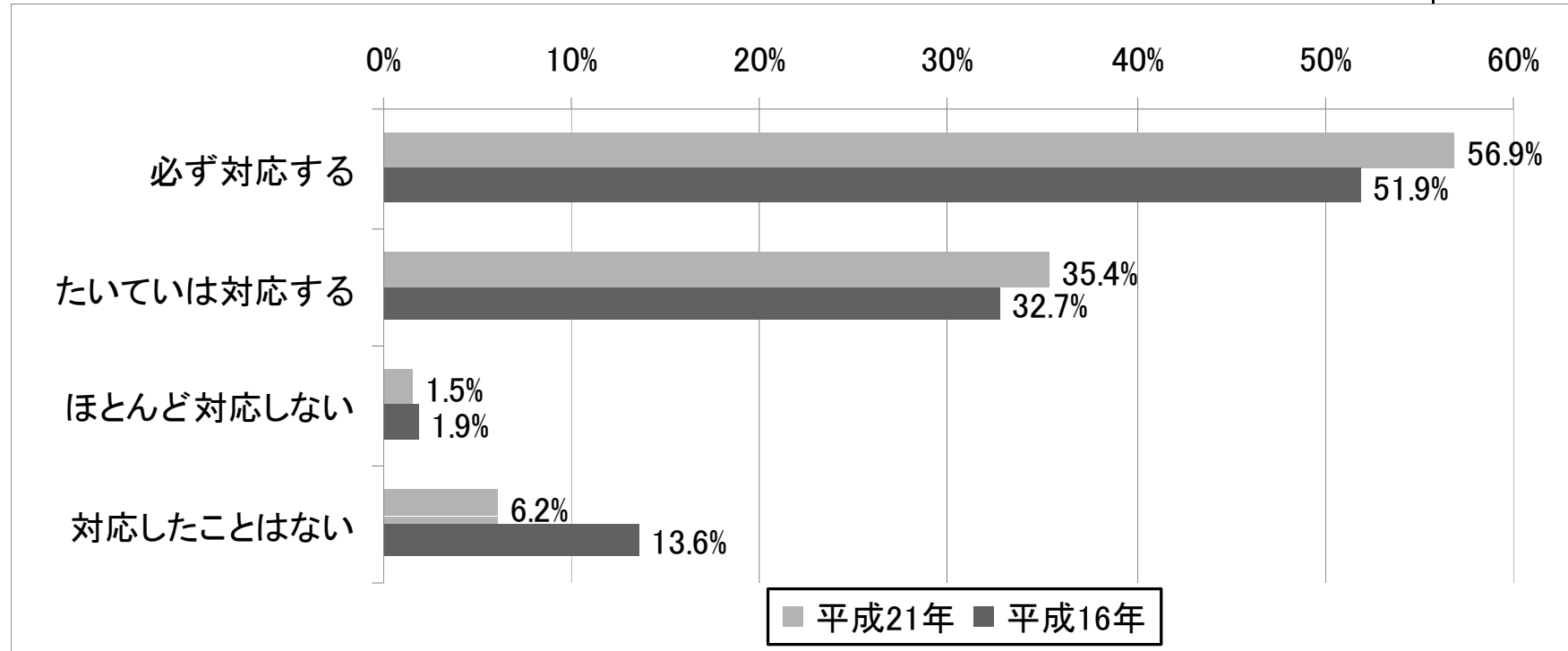
- 「必ずする」と、「たいていはする」合計

- 産業医：60%

- 看護職：44%

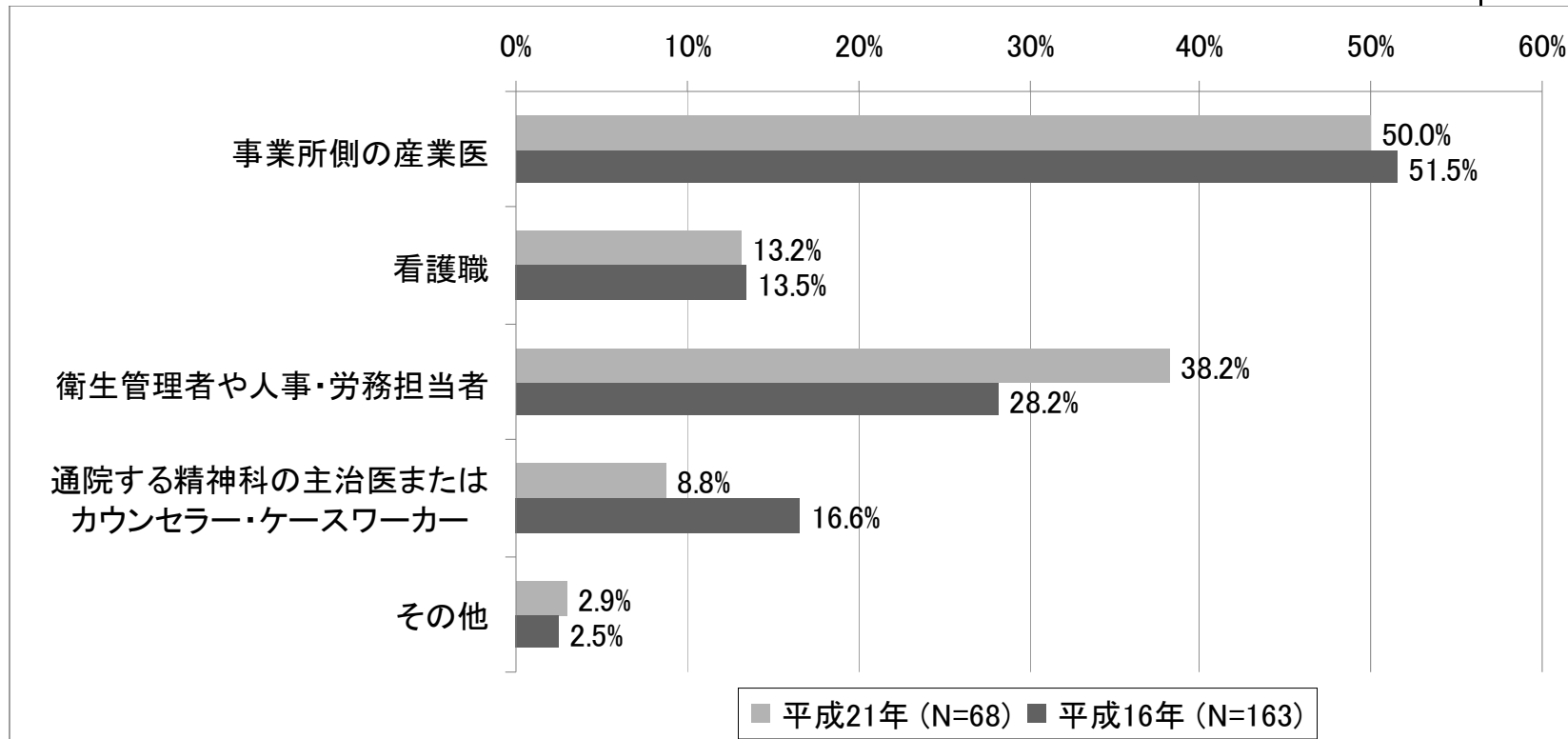


# 産業医からの診療情報提供依頼への対応



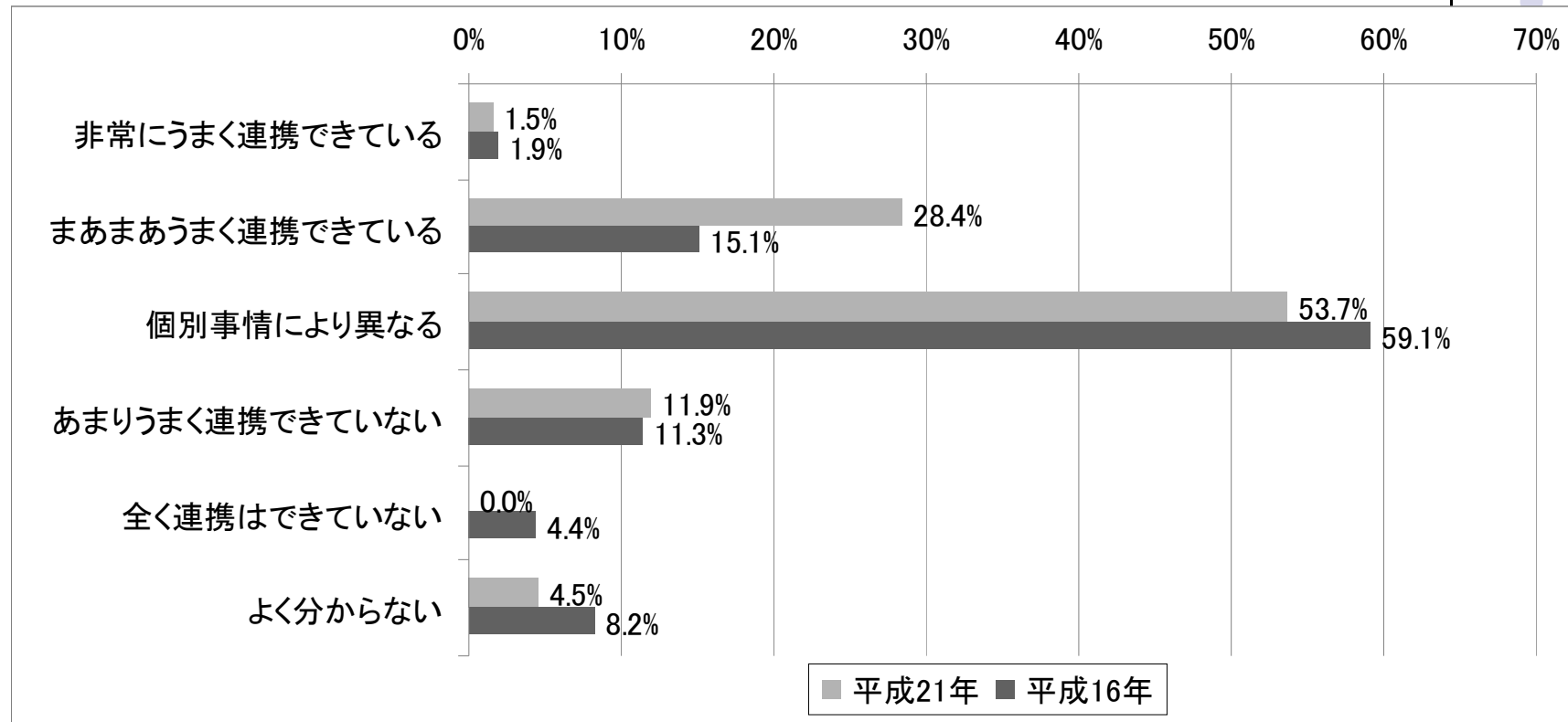
- 「必ず対応する」「たいていは対応する」の合計は8割から9割まで増加

# 復職時に好ましい担当者（複数回答可）



- 「産業医」、「看護職」など産業保健スタッフ：6割超
- 「衛生管理者や人事・労務担当者」との回答は28%から38%と増加

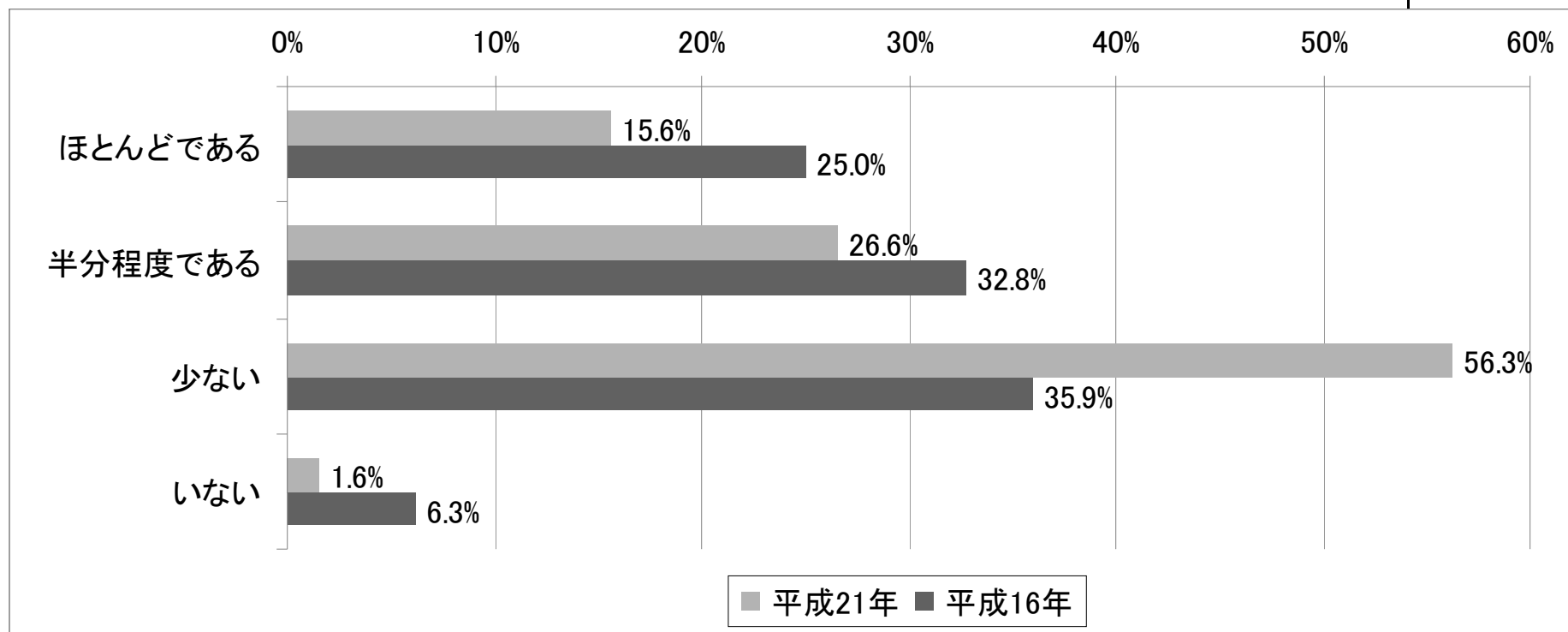
# 事業所側との連携状況



- 「個別事情により異なる」という回答が54%-59%と最多
- 「まあまあうまく連携できている」が、15%から28%に増加
- 「あまりうまく連携できていない」と「全く連携できていない」の合計は12%（平成16年：16%）

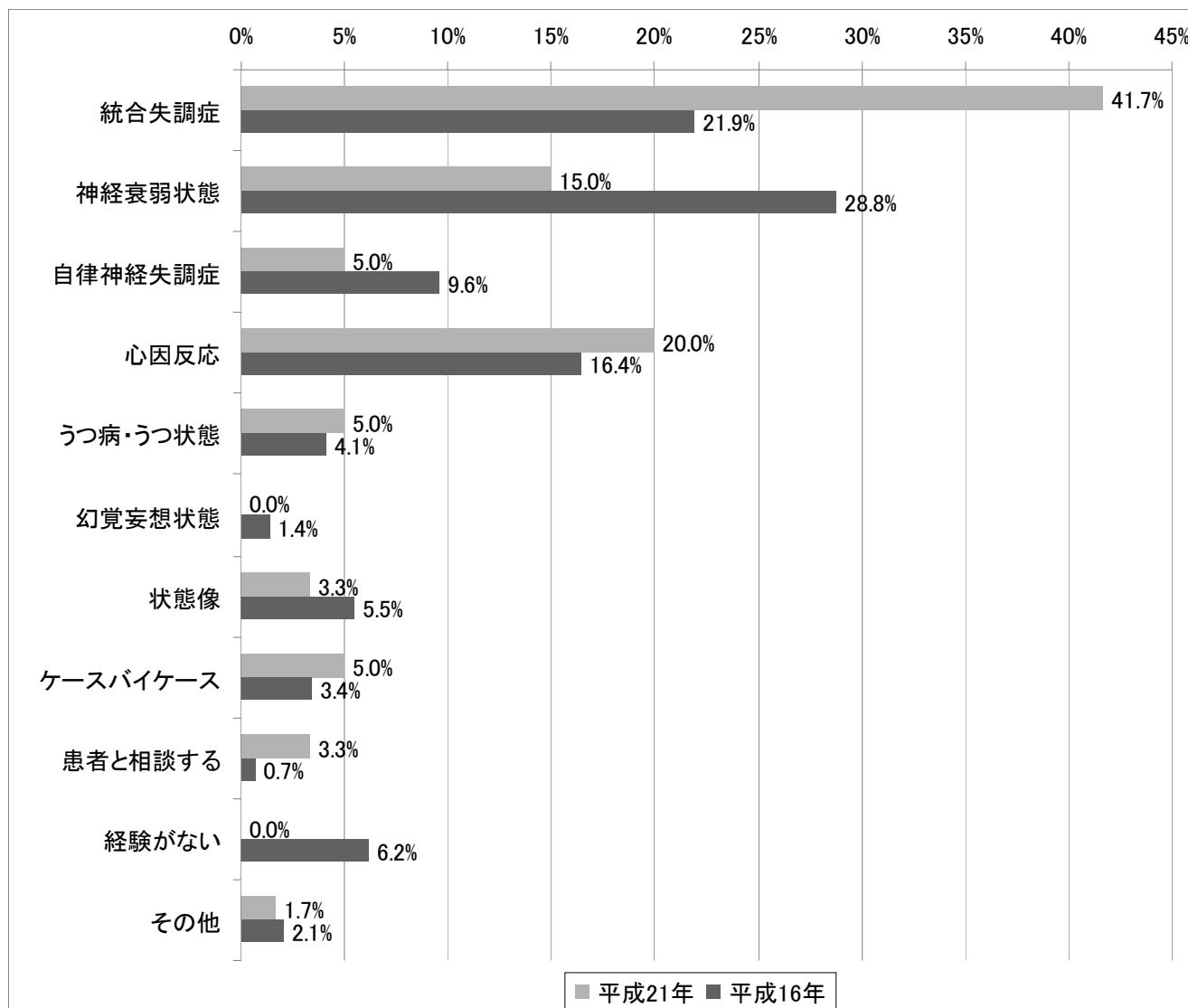


## 勤務先に内密に受診する割合



- 平成16年は、「ほとんど」と「半分程度」で6割弱
- 平成21年はその割合は4割程度に減少
- 「少ない」との回答が、36%から56%に増加

# 会社への診断書の病名（特に統合失調症）



- 神経衰弱状態、自律神経失調症が減少
- 統合失調症との記載が増加：4割超
- 平成16年は神経衰弱状態3割、統合失調症2割であった

# まとめ



- 精神科医の産業保健に関する関心、知識の増加
  - 職域におけるメンタルヘルス問題
  - 心の健康づくりのための指針の知識
- 精神科の臨床の現場でも労働者のメンタルヘルスの問題が注目
- 産業保健スタッフと精神科専門医の連携の進展
  - 産業保健スタッフとの相談が増加、産業医への情報提供をするとの回答も多い
  - 復職時に好ましい担当者として「産業医」「看護師・保健師」が多い
  - 「衛生管理者や人事・労務担当者」との回答が増加

# まとめ



- 雇用に関連して、勤務先に内密に受診する割合は今回低下
- 精神科医の事業所への診断書の病名
  - 統合失調症の場合に「統合失調症」とする回答が倍増
  - 「神経衰弱状態」との回答は、半減
- 会社でのメンタルヘルス関連の受入れの進展
- 事業所側の産業医等産業保健スタッフとの連携促進
  - 事業所における正確な診断の記載による、患者の不利益への懸念が減少

# まとめ



- 本調査により
  - 精神科専門医の状況の推移の把握
  - 精神科医と事業所との連携のための基本的な情報が得られた
- 産業保健推進センターの役割
  - 精神科専門医と密接に関わりを持つことが重要
  - 効果的な支援体制を確立してゆく必要性
    - 情報提供や研修会の開催
    - 産業保健の現場での事例検討